

# いなみ町議会だより



夏本番!!水しぶきに涼を求めて

## 6月定例議会

- 議案審議・第2回臨時会……………P2～P4
- 一般質問（4議員）……………P5～P8
- 委員会活動報告……………P9～P11
- 企業めぐり・あとかぎ……………P12

# 平成十九年第二回印南町議会定例会開催

平成19年第二回印南町議会定例会は、6月11日開会し、15日閉会いたしました。  
上程案件は、選任3件、条例制定1件、補正予算3件、報告4件、追加議案1件（工事請負契約）、議員提出議案（意見書の提出）2件、請願1件の計15件が提案され、慎重審議の上、すべて可決しました。

## 平成19年度一般会計補正予算

補正予算 8,159万4千円  
総額 43億8,522万1千円

### 議案質疑

#### 固定資産税評価審査委員会委員を選任（任期3年）

6月定例会で固定資産評価委員の任期満了に伴い、次の方が選任されました。（いずれも再任）

島田 945番地の3 西田 彰宏  
南谷 858番地の2 橋本 壽一  
皆瀬川 119番地 片山 武夫

#### 黒潮フルーツライン 区域農用地総合整備 償還基金条例に関する質疑

**Q** 第3条の管理について、金融機関への預金「その他」と記述されていますが、有価証券などの手段もあるということか。

**A** その他とは一般的には国債で株式投機とか有価証券とかいうものを購入するようになってはいない。

**Q** 第4条の運用益金について一般会計のなかでどのような項目でこの収益は表現されるか。

**A** 預金金利であれば財産運用収入として積み立て、歳出では積立金として予算計上する。



工事が進む黒潮フルーツライン

### 一般会計補正予算に関連する質疑

#### 地域公共ネットワーク構築負担金に関連して

**Q** 情報管理費に計上されている地域公共ネットワーク構築負担金に関して、今回この公共施設を整備する上でケーブルテレビ方式を考えていないのか。

**A** 民設民営方式による公共ネットワーク構築を機に全町的な部分で同じようなサービスが受けられる環境は期待できるものというふうに考えている。

**Q** 2011年、地上デジタル放送が始まるもとで各テレビ組合は今までのように受益者が管理をし、行政側はタッチしないということか。

**A** 今回の整備でプロードバンドの利用、それから地上デジタル対応が可能になるという選択ができる環境が整備できる。

共聴施設の改修について国の補助事業を活用する部分についての支援を基本にする。共聴施設の規模によつては自主対応という共聴組合もあると考えている。

**Q** 印南地区の共聴施設の回線が老朽化しており、地上デジタル放送に対応していくには現在の回線を利用するのは困難になってくる。この回線の改修には町として補助などの対応は考えていないのか。

**A** 辺地対策事業のなかで対応し、基本的に個人負担が1世帯あたり3万5千円であります。回線の改修への補助などは考えていない。

**Q** 地域イントラネットについて調査が完了していないということだが、どの部分が完了していないのか。

**A** 調査は今現在も完了していない。調査の基本方向としては公共ネットワークを構築する手法、次に公共ネットワークを利用する業務等について大きく2点に絞り調査を進めるとのことである。

**Q** 辺地共聴施設改修整  
備事業について加入者  
世帯の少ないところ、奥地な  
どは具体的にどのようにな  
っているか。

**A** 町域全体が電波辺地  
という事業が可能とい  
うことで大規模、小規模の判  
断は加入者数によって判断す  
る。国も基準に沿って対応し  
ていく。

**Q** IP電話（インター  
ネット利用の電話）の  
交換機保守料、設備リースに  
ついて地域公共ネットに対応  
した光ファイバに対応した電  
話と解釈してよいのか。

**A** IP電話は光通信を  
基本とした部分の構築  
が前提である。町内の電話も  
1つのRUNケーブルを共有  
でき、合理的な電話交換機と  
それにあわせ市内の電話器自  
体の更新もおこなう。

**Q** 今回の地域公共ネッ  
トワーク構築負担金は  
公共施設をつなぐ資金である  
が、住民サービスをそこから  
どのように進めていくのか。

**A** 教育システムの構築  
や防災情報の双方向の

サービスの展開などを考えて  
いる。役場の内部事務改善を  
基本として組織間で検討して  
いる。

**Q** 今回の対応でインタ  
ーネットを使用できる  
地域が80〜90%という報道が  
されていたが、残りの10〜  
20%の地域の人たちについて  
は光ファイバを使いたくても  
使えない状態になるとい  
うことなのか。

**A** 10〜20%の未整備地  
域がどこになるのかは  
現在は定かでない。100%  
の整備を予定するならば行政  
の対応として公共サービスの  
拡充に伴う公共インフラの延  
長、また住民サイドからの加  
入要望等に伴う一定の補助と  
いうようなものも検討する必  
要がある。

### 津波危機管理対策緊急 事業等について質問

**Q** 津波危機管理対策  
緊急事業として漁港  
測量設計委託料として800  
万円、漁港陸間整備工事請負  
費について説明を求めます。

**A** 津波危機管理対策  
緊急事業は光川地区の防

潮堤の整備で、民宿「赤坂」  
さんから元紀南パレスまでの  
耐震化補強である。

漁港陸間整備工事請負費  
1,130万円は印南地区陸  
間改修9基を  
計画してい  
る。



### 農業に関する質疑

**Q** 農林水産業費に関連  
して防油堤の新設の2  
分の1の補助を出すというこ  
とだが、油もれは古いタンク  
が原因となっている。その古  
いタンクへの補助についてど  
のように考えているか。

**A** 現在は古い施設につ  
いての補助は考えてい  
ない。

**Q** 農業生産総合対策事  
業費に関連して、津井  
地区の農家に対してビニール  
ハウスをJAがリースするとい  
うことだが、リース料やど  
れくらいの期間でリースする  
のか。

**A** リース料の詳細はJ  
Aがこれから検討して  
いくので詳しくは決まってい  
ない。

### 崎山地区農道整備 工事の工事請負契約に 関連する質疑

**Q** 入札は指名競争入札  
となっているが、業者  
を指名するときの内容はどの  
ようになっているのか。

**A** 今回の場合は1億円  
以上ということ、町  
内業者では施行は無理であ  
る。経営事項審査評価が11  
00点以上、12社選定で入札

を行った。

**Q** 工事区間をいくつか  
に区分けして地元の業  
者に工事を請け負ってもら  
うことは無理か。

**A** 掘削と盛土が相互に  
あり、分ければ非常に  
価格が高くなり分離して発注  
するということは不可能であ  
る。



生活道としても期待される崎山農道

# 第2回臨時議会を開催

第2回臨時議会が平成19年5月21日に行われました。専決処分の承認7件、規約の変更2件、工事請負契約2件を審議し、承認及び可決いたしました。

## 承認された専決処分手項

- 1 印南町税条例の一部を改正する条例
- 2 印南町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 3 印南町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
- 4 平成18年度印南町一般会計補正予算（第9号）
- 5 平成18年度印南町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）
- 6 平成18年度印南町老人保健事業特別会計補正予算（第4号）
- 7 平成18年度印南町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）

## 可決された議案

- 1 和歌山県市町村職員退職手当事務組合を組織する地方公共団体の数の増加とこれに伴う規約の変更について
- 2 和歌山県市町村非常勤職員公務災害補償組合を組織する地方公共団体の数の増加とこれに伴う規約の変更について
- 3 工事請負契約について  
平成19年度印南町簡易水道事業印南原浄水場増設工事  
契約金額・7,821万4千500円
- 4 工事請負契約について  
平成18年度繰越公立学校建物新增築事業  
切目中学校屋内運動場改築工事  
契約金額・2億2,260万円

6月定例会において議員発議による条例改正1件と意見書2件が提出され、可決されました。

### 発議第4号

印南町議会議務局設置条例の一部を改正する条例  
(印南町職員定数条例改正による)

### 発議第5号

道路整備の促進と財源確保を求める意見書

### 要望事項

- 1 道路整備を促進するため、道路特定財源は、道路整備のための必要な財源として確保するとともに、地方における道路整備財源の充実に努めること。
- 2 地方の道路整備に対する高いニーズを踏まえ、真に必要なとしている道路整備を計画かつ着実に進めること。
- 3 東南海・南海地震発生時の緊急輸送道路として不可欠な幹線道路から市町村に至る道路ネットワークの整備を重点的に実施すること。

### 発議第6号

日高地方へ看護師養成所の設置を求める意見書の提出について

### 意見書内容抜粋

県内の看護学校は和歌山市4校、紀ノ川市1校、紀美野町1校、田辺市2校、新宮市1校という設置現状ですが、日高地方にはありません。和歌山県の地域医療の充実のため、日高地方にも看護師養成所を是非とも設置してください。強く要望する。

今議会で請願2件のうち、1件を採択、1件は継続審議

### 請願第8号

公設民営によるケーブルテレビ施設整備についての請願書

総務文教常任委員会に付託、継続審議。

### 請願第9号

看護師養成所を日高地方に設置することに關する意見書提出を求める請願書

厚生常任委員会に付託された本請願について、審査した結果、願意妥当であり、請願採択として、今議会において厚生常任委員長から報告があり、全員賛成で採択されました。



榎本 敏夫議員

## 安心の明日へ 産業後継者と防災対策は

### 町内産業の後継者対策について

**質問** 町内産業は農業、漁業、林業、商工業ですが、高齢化の進む中、各産業の後継者対策を考えなければならぬ時期にきているのではないですか。

**一例を町の基幹産業の農業を見ましても特に中・小農家では、今後の後継者はどうなるのかと思われる農家が、どの農業集落でも見られます。これからの町産業発展維持への対策はいかがでしょうか。**

#### 答弁 産業課長

まず、農業については農業振興協議会等、農業関係の多種多様な会やグループ組織に対して補助金等活動支援を行っています。

日高振興局農業振興課やJAみなべいなみ等と連携し、後継者対策や地域の特性を活かした産地づくりや生産基盤整備等、側面から取り組んでいるところです。

産業全般では、その産業の組合や団体と連携を密に各種施策を導入し、組織強化に努めています。

**再質問** 今まで以上に産業発展へ後継者の強い対策は考え

ていないのでしょうか。

#### 答弁 産業課長

農業後継者対策といえば、先ず担い手農家の育成につながると思います。耐候性ハウスの増築等で、台風等に影響されず、高品質な商品生産が安定生産に向け、農業所得向上へ国、県の施策制度も考え、担い手農家の育成を重点に支援を考えていきたいと思っています。

### 災害防止

#### 対策について

**質問** 今年も梅雨期から台風、大雨シーズンといった自然災害多発の心配な季節を目前にひかえて、町全域の自然災害の防災対策はいかがでしょうか。

要注意箇所把握と万への町民への防災対策はいかがでしょうか。

#### 答弁 総務課長

自然災害には、災害対策基本法に基づく印南町防災計画、また平成16年の東南海・南海地震対策計画、また平成17年作成の印南町津波避難計画に基づき、予防計画応急計画、普及計画を中心に取り組んでいます。



大雨での土砂崩れは生活にも支障をきたします。

また、事業面では、河川改修をはじめ昨年より避難路等、実施できるところから実施しているところです。また、気象情報は気象庁発表の、また津波警報などリアルタイムに町民に防災無線により呼びかけています。

観測では河川の水位は印南川で1ヶ所、切目川で2ヶ所雨量観測は町内公共施設を中心に8ヶ所設置しています。

要注意箇所は急傾斜地や土石流危険箇所です。また、大災害発生時は行政だけでは対応

できないところがあり、日頃から「自分の命は自分で守る」防災の原点に立つた住民一人一人の防災意識が大切と思っています。関係団体と連携を密に取り組みたい。

#### 答弁 建設課長

平成17年に県は調査に基づき土砂災害危険箇所表を作成してくれています。当町も前から28急傾斜工事と王子川支流や名杭川の工事も実施してきています。



榎本 一平議員

# 若い子育て世帯への支援について

—チャイルドシートの貸出制度の充実や購入費の助成を—



幼い命を守るチャイルドシート



質問 2000年4月から道路交通法で、チャイルドシートの着用が義務づけられた。チャイルドシートには子供の年齢や体重の違いにより数種類あるが、値段が高いわりに使用期間が短いなどの特徴がある。

チャイルドシートの貸出し制度の充実や購入費に対する助成などを行ってはどうか。

答弁 健康福祉課長

自己の車に取り付け、子供の命を守る装置で、それぞれの世帯で対応するものであり、町の助成は考えていない。チャイルドシートを再利用する貸し出し方法の取り組みは今後、検討できる内容である。

## 教職員の勤務状況の実態について

生活状況を把握するための実態調査を

質問 県の教育委員会が高校や養護学校などの教職員を対象に生活状況アンケートを初めて行い集約をしている。

教職員の勤務実態については仕事の負担などが強調されるも、町でも教職員の勤務実態や生活状況を把握するための調査を行うべきではないか。

答弁 教育長

日高・有田ブロックの教育長会では小、中学校の生活状況アンケートを実施する方向で検討に入っている。

当町は平成19年文科省の指定事業のなかで保護者、児童・生徒・地域・住民アンケートなどとともに教職員に対する調査も行っている。

## 6月からの住民税(県民税+町民税) 大増税から町民のくらしを守る施策を

質問 政府・与党が進める増税政策が町民に大きな負担となっている。

国から地方に税源を移す(税源移譲)と定率減税の廃止などが重なり、6月から住民税が大増税となっている。町全体、町民1人当たり平均の増税額は。

答弁 税務課長

町全体で昨年度に比べ町民税は7300万円の増額、県民税では9188万円の増額となっている。

町民1人当たり平均で町民税と県民税合計で、4万3千円の増額となっている。

質問 住民税の大幅アップは景気回復に逆行するものではないか。

答弁 税務課長

定率減税、高齢者の非課税制度の廃止で増税となるが、国の方針で定まっているものである。

質問 当町の税条例、税条例施行規則には減税・減免制度があるが、自主申告制度となっており、町民の負担が軽く

なるように町民に減税制度があることを知らせるべきではないか。

答弁 税務課長

均等割や所得割については確定申告で所得金額が免除の条件に合えば課税されない。

質問 65歳以上で介護認定を受けている人が「障害者対象認定書」を町に申請すればこれを認め、負担が軽くなるように援助すべきでは。

答弁 税務課長

身体障害者手帳を持たず重度の寝たきりの人に対しては、これまでも障害者として申告しているが、現時点では介護認定を受けている全ての人に対し「障害者対象認定書」の発行は考えていない。





西山 徹議員

## 印南町有公有財産は — 公営住宅・改良住宅の今後の維持管理について —



上道改良住宅



肥料製造大型共同作業場内部

**質問** 切山公営住宅について20年、21年においては室内改良することですが、事業内容について、また払い下げについてはどのように考えているのか。

**答弁** 地籍管財課長  
改良計画については、現在のところ未定であり、払い下げについては、今後検討が必要と思う。

**質問** 上道改良住宅について、住宅解体撤去・敷地整備工事について、どのように考えているのか。

**答弁** 地籍管財課長  
空き家が出てきているため、住み替えを推進して、条件が整ったところから進めていきたい。

**再質問** 公営住宅・改良住宅について、耐震診断の結果を踏まえて、建て替え等、今後の計画を早急に検討が必要でないか。

**答弁** 地籍管財課長  
公営住宅・改良住宅とも、縮小を念頭に庁内はもとより、町民の皆さんと積極的に議論を進めていきたい。

### 肥料製造大型共同 作業場について

**質問** 作業場内の設備機器等は撤去されています。条例では、7百万円以上の売り払いについては、議会の議決が必要とありますが、どのように撤去されたのか、その内容については。

**答弁** 地籍管財課長  
和解条項の中で、動産、設備機器について一定期間内で企業、次に町が自己負担で撤去するとあり、できない場合双方協議の上で撤去するとあ

り、その価格以下と理解している。

### 中山間地域における 後継者不足と 結婚問題について

**質問** 若者が定住しやすいため、あるいは若者が交流しやすいまちづくりなど、その環境を少しでも整えることについての施策については。

**答弁** 産業課長  
後継者問題については、補助金等を出して、各種団体において考えていただいています。

結婚問題については、当町では、さほど問題であるとは思っていない。

**再質問** 中山間地域については、近くに働く場所があれば、という住民の声があるが、加工場など住民による起業を考えるとどうか。

**答弁** 産業課長  
地域で起ち上がれば、支援していきたい。



藤本 良昭議員

# 陳情や請願について どのようにとらえられているか

**質問** 稲原、切目川、印南地区の共聴アンテナ組合等を中心に多くの方々から提出されている本件に対する陳情や請願について、当局はどのようにとらえているか。

**答弁** 総務課長

町内約3000戸のうち、約1000戸は共聴組合に入せず直接受信している現状や諸事情によりケーブルテレビ方式は困難だということをはじめ、基本方針や現時点での取り組みについて関係者に説明、回答している。

## 地域公共ネットワーク構築の中心は

**質問** 1年かけじっくり調査検討の上、答えを出すとして、3月議会に調査費計上、6月に事業費と短い期間に調査終了したのか。時期尚早ではないか。

**答弁** 総務課主幹

一連の調査は終わっていない。

**質問** 地域イントラの構築手法、管理、セキュリティおよび事業費、対応事業者については何社からの見積もりを取っているのか。

**答弁** 総務課主幹

町内16の公共施設(学校等)に光ファイバを接続し、ブロードバンド化を図る。そこからは事業者と個人対応が始まるものと思われ、基本とするのは民設民営で構築され、認可を受けた電気通信事業法に基づき、地域や人によつての差や不均衡は当然考えられな

いと解釈している。事業費については基本事業費として1億5千万円で、利息等を含め、全事業費で1億7640万円となる予定で、10年間分割です。

また、管理、セキュリティ等については契約書の中ではつきりとうたわれ、対応事業者については当局の主旨に該当する1社と話を進めている。

**再質問** 地域イントラで、行政サービスすべき16の公共施設とあるが、現在24施設あるのでは。

**答弁** 総務課主幹

施設の決定数は流動的です。

**再々質問** 来年4月から光回線が約80〜90%のネットワーク可能とあるが、残り10〜20%はどの地域を指すのか。

**答弁** 総務課主幹

事業者サイドの提案であつて地域は限定されていません。

**質問** 地上デジタルテレビについてどのように対応するの

**答弁** 総務課主幹

放送事業者、受信者負担が原則と考えており、共聴アンテナ改修はそれぞれの地区、個人で対応していただく。ただし、加入世帯が少ない組合には辺地共聴施設改修整備事業の活用も考えている。

行政としては、あまりタッチしない。デジタル化促進には進めてまいります。

## 切目地区サテライト設置について

**質問** 切目地区に設置されているサテライトは送信施設であり、そこから各個人がアンテナを立て、受信していることをとらえ、他の地区のように共聴アンテナ等で受信していることに、どのようにとらえているか。

また、サテライトの維持管理154万4千円は公費で出していることに平等性を欠くのではないかと。

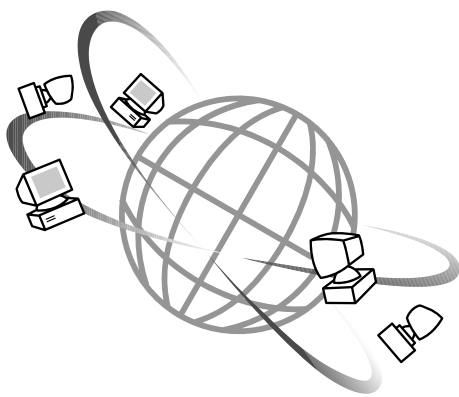
**答弁** 総務課長

平成8年度に白浜空港ジェット化にもない、設置された送信施設であり、費用については実際は自主財源によるものです。

**質問** 御坊市を含む郡内各地の取り組み状況と、今後の大合併への影響は。

**答弁** 総務課主幹

民間主導でもに対応されていくものと思います。公設民営だと後年度において少なからず、責任対応が課題となると受け止めているし、広域合併等への影響は今、判断するに及ばないと考えます。





# 「委員会活動報告」

## 総務文教常任委員会

4月17日、閉会中の所管事務調査として印南町公有財産について調査いたしました。

公有財産の中で、遊休地や遊休建物、公営住宅や改良住宅等、現地視察しました。

### 旧家畜保健所

土地 2170.11㎡  
建物 346.8㎡  
土地の所有 印南町5分の4、御坊市5分の1

建物の所有 和歌山県

耐震強度あり、場所的に利便性あり活用を早く計るべきである。



十分活用ができる旧家畜保健所

### 法経堂町営住宅

20戸のうち入居者に譲渡し6戸残。この住宅も譲渡交渉中。

### 水産加工大型共同作業場

土地 5046.69㎡  
建物 3891.60㎡

平成13年8月より空き屋となっており、内部は大変荒れている。立地条件はよく、貸し工場として引き合いはあるが、決まっていない。

### 漁業公有水面埋立地

土地 17461㎡

嵩上げしない限り現状では使用困難。利活用について検討する必要あり。

### かえるの里

カルフル・ド・ルボ貸与地 8767㎡、障害者通所施設貸与予定地、約5000㎡、保幼一元化施設候補地 10107㎡。  
特養施設、障害者施設、児童施設が集約されれば、印南町の福祉ゾーンとなる。

### 上道町営住宅

改良住宅、昭和47年～51年建設90戸、耐震診断の結果、強度なし。修理費多くなっている。

空き家については募集を行わず建て替え、取り壊しを検討中である。

家賃月額3000円について、応能応益で検討していく方針。

公営住宅13戸

### 切目大型共同作業場

土地 891㎡  
建物 552㎡

施設は美しい、利活用できる。



肥料製造大型共同作業場

### 肥料製造大型共同作業場

土地 4070㎡  
建物 1967.7㎡

悪臭がし、無惨な状態である。再利用は難しいと思

われる。

### 宮ノ前企業団地

土地 2468㎡  
(アイテックより買い戻し)

### 切目川中学校

教育財産から普通財産へ移行したが、グラウンド内に個人の土地があり、登記に問題あり。



旧切目川中学校跡地

### 切山公営住宅42戸

平成19年度から家賃は応能応益に移行。平成20年～21年度で室内改修を行う。

視察の結果、遊休土地、建物は現状での利活用は難しいと考えられるが、アンテナを高く上げて取り組みたい。

以上、町民の皆さんに調査結果の概要をご報告いたします。

## 厚生常任委員会

4月25日、厚生・総務文教の合同委員会を開催。教育委員会から幼保一元化の進捗状況を聞き、美浜町が建設中の「ひまわりこども園」の視察研修を行いました。

### 《幼保一元化施設》

21年4月開園は困難事業計画、なぜ立てられない！

昨年3月議会で請願を採択し、1年以上、委員会で取り組ませていただきました。私たちは幼保一元化施設の早期実現を強く願っています。

現在の状況としては「久保井町制3期目中の開園は、教育委員会と町長部局が一丸となって開園時期を決め、計画的に進めていかない限り困難」だと思います。  
(以下、質疑応答抜萃)

### Q 調査の内容は？

A かえるの里に幼児園を建設すると仮定した場合の調査研究費で、業者は未定。具体的にはこれから進めていく。

Q 21年4月開園と地方新聞にも載り、そう思っている住民も多いが。

A 明言していない。久保井町制3期目の命題として、早期実現に熱意をもって進める。

Q 1月11日の委員会で「久保井町制3期目の命題として取り組むということ」は、2年後ということか」という質問に、「はい、目標として頑張ります」という回答があったが、3月定例会では「21年4月とは明言していない」という答弁。

場所については、委員会で、「町長に申し入れているが、決定の返事はもらっていない。この調査をしないと具体化しない」との回答。調査後は計画が具体的に進むのか。

A 適地であると決めれば、今後は総務課との調整。

Q 早期実現に熱意をもって進めるのなら、事業計画を立てるべきでは。

A 具体的計画を立てるに至っていない現状。

Q 学校統合は、年度を町が決めて行っているのに、幼保が決められない理由は何か。



幼保一元化について説明を受ける

A 初めてのことなので、一つ一つ進めていきたい。

Q 21年4月まで2年足らず。早急に調査結果を出し、実施設計を組まなければ間に合わないが、願望だけなのか。実際にやるのか。

A あくまでも目標に取り組んでいきたい。21年4月開園には9月補正で実施設計費を計上しないと間に合わない。

Q 調査に要する時間は。A 受託業者との話になるので未定。

Q 21年度開園は無理だとい

うことか。

A 受託業者との話しになるので分かりません。

予算は4月1日から使えるのだから、早急に業者選定をして具体的に計画してもらいたいと申し出、閉会しました。

### 産業建設常任委員会

当委員会は、閉会中の所管事務調査として「ハイウェイフロント型「道の駅」構想策定について」を前期に引き続き行った。

昨年、北山村をはじめ、奈良県の道の駅「當麻の家」京都府の道の駅「シルクのまち・かや」、福井県の道の駅「若狭熊野宿」と視察研修をし、その集大成として19年は構想の策定に取りかかり、9月には委員会としての「道の駅」構想を冊子にまとめ上げるための調査研究、議論を重ねているところである。

### 調査研究の結果、

#### 見えてきたこと

調査研究を重ねることによって次のことが見えてきた。

「研修地における道の駅」では、その町が持つ歴史、産業などを表面に出すこと

で、独自性を出しており、地域の文化と特産物などを組み合わせた地域ブランドを作り上げ、どこにもマネの出来ない特徴を持った「道の駅」を構築していく。

高速道路の利用は物流や人々の非日常的な利用が中心であるが、最近では人々の日常的な利用も増えつつある。今後、高速道路の活用はますます多面化し、交流空間・集客空間としての役割も強まることが予想される。

人口が少なく、経済的なポテンシャルや地域の魅力も乏しい当町（日高郡部を含む）では、質の高い都市機能や産業基盤の整備を単

独で行うことは難しいため、地域間の連携、交流による広域的な発想が必要である。

インターチェンジ、サービスエリアの活用とその周辺も視野に入れつつ、地域ネットワークを形成することが必要である。

このため、高速道路を活用したハイウェイフロント型の地域振興策として、地域一体型の拠点を整備しなくてはならない。

委員会で、こうしたことなどが意見としても出され、継続的な調査研究として、ハイウェイフロント型「道の駅」構想の策定を研究課題とした。



駐車場も整備され利用者の増加が期待されるSA

## ハイウェイフロント型

### 「道の駅」構想の内容

委員会が作成しようとしているハイウェイフロント型「道の駅」構想は高速道路の機能を活かした活性化を軸として、地域の活性化、さらには広域的な観点へと発展させる内容となっており、その内容の項目をご紹介します。

#### 1 道の駅とは

道の駅の機能とは  
道の駅の登録申請等  
求められる道の駅

#### 2 先進地における道の駅

研修先での道の駅  
成功事例にみる道の駅

#### 3 新しい発想での「まちの駅」

地域の特性を活かす  
新たな企画立案

#### 4 ハイウェイフロント型地域

振興  
高速道路機能の活用  
SA周辺地の活用

#### 5 構想実現のための方向づけ

集客力を高めるために  
課題と問題点

以上の項目を委員会で調査研究、討論しまとめ上げているところです。

## 印南町議会 まちづくり特別委員会

### 設置

平成18年3月20日、印南町議会委員会条例第5条の規定により、印南町議会まちづくり特別委員会の設置に関する決議をし、設置したことについては昨年10月の議会だより31号でお知らせしました。その後、次の委員会活動の内容について調査研究や研修などを行ってきました。

### 委員会の活動内容

平成18年4月13日、14日

平成18年度第1回町村議会議員特別セミナーに議員4名が参加。  
場所は滋賀県大津市、全国市町村国際文化研修所で、研修内容として、「第二次地方（町村）議会活性化研究会報告について」、「地方議会活性化について」を研修、研鑽を広めた。

平成18年6月15日

印南町財政健全化計画（集中改革プラン）に対する調査研究

平成18年9月8日

市町村合併フォーラムが田辺市で開催され、委員9名が参加。内容は、市町村合併、これまでとこれから

平成18年11月9日

日高郡町議会議員研修会に全員が参加。開催場所は日高川町で、研修内容は「分権時代に対応した新たな町村議会の活性化方策、あるべき議会像を求めて」

平成19年5月30日

印南町議会の適正化に関する調査研究を開始。

平成12年4月1日から、地方分権推進一括法が施行され、地方分権時代に本格的に突入、行財政の改革をはじめ、全国的に議会の活性化が提唱された。こうした時代の流れを受け、印南町議会としても、議会の適正化という課題のもとに議員自らのエリを正し、議会の活性化方策を調査研究するものであります。

### 1 議会関係では

#### (1) 議員

議員定数  
議員報酬

費用弁償・旅費等諸手当

住民の意見集約

#### (2) 委員会

常任委員会について  
議会運営委員会について

特別委員会について  
全員協議会について

### 2 議会運営関係では

#### (1) 本会議

一般質問について  
緊急質問について  
討論について

動議について  
傍聴について

#### (2) 委員会

審査について  
公聴会について  
参考人について  
公開について

### 3 その他関係

#### (1) 議会権限

#### (2) その他

以上について概況と方策について調査研究することといたします。



言論の府である議会議場

## TOPICS 印南町内小学生が議会を見学

課外授業の一環として町内小学生が議会を見学。

6月19日に上洞小学校、切目川小学校、切目小学校の児童が見学。

議場では事務局職員の号令で、議長席と議員席、執行部席に座り、事務局職員から手渡された資料に目をやりながら、議会について勉強。事務局職員から「座り心地はどうですか」と聞かれ、口々に「フワフワして気持ちいい」などと答え、「大きくなったらここに座るようになってください」との言葉に大きくなすいていました。(期待できます)



TOPICS

# 町内企業紹介

No.03 恵和株式会社

町民の皆さんに、もっと町内企業を知っていただこうと、議会だより32号から町内企業を紹介しています。  
今回は印南町印南原「恵和株式会社」をご紹介します。

## 世界に躍進する恵和株式会社



石田センター長

今回、ご紹介するのはさら  
こ企業団地に拠点をもち、液  
晶製品に使用される部材で  
ある拡散シートの日本三大  
製造メーカーとして、日夜頑  
張っておられる「恵和株式会

社」を訪問させていただきま  
した。

### 組織・体制

1993年(平成5)にア  
タックテクノセンターとし  
て印南町に生まれましたが、  
会社設立は1948年(昭和  
23)で長村秀太郎氏が神戸市  
に、同年大阪営業所も設立、  
現在、大阪市東淀川区、東京  
都中央区に本社をもち工場  
は滋賀、東京、九州(福岡)で  
当町はアタックテクノセン

われ、パソコン、テレビ、モニ  
ター等が約60%が中国で使  
用されている。  
従業員は全体で458名、  
当町のアタックテクノセン  
ターでは約180名、内パー  
トや契約社員が約3分の1  
を占めています。

### 主要製品

会社全体としてポリエチ  
レンラミネート紙、リサイク  
ル防湿紙・鉄・非鉄用防錆紙、  
各種フール製品、アルミ蒸着  
製品、工程紙、農業資材等で、  
私達、誰もがご存知の液晶テ  
レビ画面やパソコン、携帯電  
話の画面等、現在社会になく  
てはならない製品を作って  
おり、そのうち前述の拡散シ  
ートを印南で担当。

つつあり、大画面对応の液晶  
の製造が求められ、テレビ販  
売の過当競争がますます激  
しくなる中で、コストダウン  
を図り、設備の大型化、新製  
品開発の必要性に迫られて  
います。

### 印南町に望むこと

私どもは世界との貿易拡  
大により成り立っており、現  
在、1回線のみ光ファイバ  
で対応しているが不十分で  
あり、充実したブロードバン  
ド化を。

また、製品の大型化が進ん  
でおり、大型車両が楽に通  
行できる道路網の整備を望み  
たいです。

### 取材担当委員の所感

洗練された工場内、人、ま  
さに先端技術の工場として  
ぴったりな感じを受け、中で  
もコーティングした製品を  
見せていただいたり、次代の  
製品開発に熱心な研究室等、  
14年間、この地で社員一同が  
創意工夫のもと、頑張ってお  
られることに敬意を表し、益々  
の繁栄を祈念しつつ、社をあ  
とにしました。

(担当委員 藤本良昭)

### 議会広報特別委員会

- 委員長 榎本 一平
- 副委員長 畑中 豊
- 委員 藤本 良昭
- 委員 堀口 晴生
- 委員 西山 徹
- 委員 谷井 長平

**あとがき**

本格的な夏季を迎えま  
したが、朝夕は涼感を覚え  
る今日この頃です。  
政府においても社保庁、  
年金、公務員法、教育再生等  
新しい国づくりの奮闘中  
であります。  
当議会は今期、丁度折り  
返し点にさしかかりました。  
学校統合問題をはじめ、タ  
ム、河川改修、道路網の整備  
地震・津波対策等々、イン  
フラ整備など残された課  
題に傾注しなければなら  
ません。  
激しい世界の潮流に沈  
むことなく特に国も町も  
これからはどうしても避  
けることのできない加速  
する少子・高齢化に対応し  
た施策が今、必要です。  
それがためには、高度情  
報化の基盤整備が急務の  
課題ではないでしょうか。



洗練された先端技術の工場内

他に三重、栃木、  
山口、広島、熊  
本と幅広く出  
張所等として  
あり、海外で  
は台湾、韓国、  
中国と窓口を  
広く、製品の  
大半はこの貿  
易によって成  
り立っており、  
その中でも韓  
国と台湾で30  
数%を占めて  
あり、今後も  
中国の動向に  
より期待が膨  
らむものと思

### 今後飛躍発展のカギは

テレビがブラウン管から  
プラズマや液晶テレビへと  
変わりつつあり、液晶は日本  
をはじめ大きく需要が伸び  
つつあるとき、その最大の消  
費国、中国がどのように発展  
するかにかかっており、国内  
でも2011年「地デジ」対  
応テレビとして買換がどん  
どん進んで、しかも大型化し